

松下幸之助述、松下政経塾編「リーダーになる人に知っておいてほしいこと」

PHP 研究所 2009年4月6日刊を読む

リーダーになる人に知っておいてほしいこと

1. 松下政経塾 塾訓

素直な心で衆知を集め
自修自得で事の本質を究め
日に新たな生成発展の
道を求めよう

2. 松下政経塾 五誓

- | | |
|----------|--|
| 一、素志貫徹の事 | 常に志を抱きつつ懸命に為すべきを為すならば、いかなる困難に出会うとも道は必ず開けてくる。成功の要諦は、成功するまで続けるところにある。 |
| 一、自主自立の事 | 他を頼り人をあてにしては事は進まない。自らの力で、自らの足で歩いてこそ他の共鳴も得られ、知恵も力も集まって良き成果がもたらされる。 |
| 一、万事研修の事 | 見るもの聞くことすべてに学び、一切の体験を研修と受けとめて勤しむところに真の向上がある。心して見れば、万物ことごとく我が師となる。 |
| 一、先駆開拓の事 | 既成にとらわれず、たえず創造し開拓していく姿に、日本と世界の未来がある。時代に先がけて進む者こそ、新たな歴史の扉を開くものである。 |
| 一、感謝協力の事 | いかなる人材が集うとも、和がなければ成果は得られない。常に感謝の心を抱いて互いに協力しあってこそ、信頼が培われ、真の発展も生まれてくる。 |

3．よいことは素直に取り入れる

誰の言うことでも一応は素直に聞く。いいなと思ったら素直に取り入れて実行する。人の意見を聞くときは、虚心になって、私心をなくして、素直な心で聞く。そうして他人の知恵才覚を授かる。そのむずかしくないことを、人はなかなかできない。そして失敗する。

ぼくが今日まあ成功した理由は何か、いろいろ言われているけどな、ぼく自身はどうええんかなということを考えてみると、ぼくは誰の言うことでも、一応は素直に聞くわけや。それで「なるほど、これええな」となったら、それを実行すると。こうやってんのや。だから、意見を言うた人にとっては言いがいがあるわけやな。「ああ松下さん、ぼくの言うこと聞いてくれた。あの人を応援してあげよう」と、こうなるわけやな。今日の成功があるとするならば、そういうことやと思う。

ぼくは、知識も健康も力もないしな、ケンカしたら負けるし、弱い男や。それが、今日こうしてあるというのは、自分の才覚というの、ないとは言わんけど、ある程度あったんやと思うけども、その才覚の前に他人の意見を、いいなと思うものは素直に取り入れたわけやな。それで今日の成功があると思うんや。

だから今後、皆さんは長きにわたって生きていくんやから、新しい問題に直面して解決せんならんというときに、人の意見を聞く場合が非常に多いと思う。その場合、自分というものを頑固にもっておいたら、それが入ってこないわけや。その時間は虚心になって、私というものをなくして、素直な心になって聞く。そうすれば、それぞれの知恵才覚というものを授かれるわけや。何もむずかしいことはない。それを自分の考えでね、「あんなこと言うけども、あいつ、わしをだますんやないか」というて構えていると、せっかくええことを言うてもらっても入ってこない。それでみな失敗するわけや。

P25 ~ 26

4．和がなければすべてが無となる

和を第一とする。和なくしては強い力は生まれぬ。それを頭でわかるのではなく、心に入れておく。

和をもって第一とするということやな。これはもうみんなに共通の非常に大事なことからな。和をもってやらんことには何の力もないんや。その強い力がなかったら、やっていることが全部無になってしまう。無にならんように、和をもって協力するということが何より大事やから、そいつをしっかりとひとつ頭に入れておいてくれや。頭に入れるより、胸に入れてくれや。心に入れておいてくれや。それが大切や。

P123

[コメント]

経営の神様、松下幸之助先生のリーダーシップ論。よくまとまっている。日本国民の古典。
松下政経塾の塾訓、五誓も参考になる。

- 2009年9月24日 林明夫記 -